

当社の環境への取組みが相生ライフに掲載されました

この度 兵庫県相生市教育委員会の後援をいただき、当社が行った環境教育プログラム「地球1個分で暮らすために～エコロジカル・フットプリントから考える～」開催の様子が、兵庫県相生市の地域情報紙「相生ライフ 平成29年7月2日号」に掲載されました。



**タブレットで環境を学ぶ**  
相生市文化会館扶桑電通なぎさホール

この日は、市内の小中学生や親子連れなど約20人が参加して、富士通株式会社環境部門技術士の島山義彦さんから、地球環境の問題や原因についての授業を受けた。子供たちは配布されたタブレットを使って質問に答えたり、〇×クイズに挑戦。回答は島山さんのパソコンに集約後、すぐにスクリーンに映し出されるため、短時間で全員が回答が紹介でき、情報の共有がスムーズで、子供同士が積極的に意見を交わしていた。親子で参加した池田守孝さんは「クイズ番組みたいで面白かった。手を挙げて発表しなくても意見が伝わるので、授業に参加しやすいですね」と笑顔で話してくれた。

主催者の扶桑電通株式会社の川崎隆人さんは「弊社は、相生市文化会館のネーミングライツ（命名権）取得企業ということもあり、相生市への社会貢献活動を考えていました。そこで、環境出前授業をこれまで800件以上実施しているパートナー企業である富士通株式会社との協力を得て、今回のイベントが実施できました。市民の方と交流できて良かったです。今後何か企画を考えていきたいです」と話してくれた。

相生市文化会館扶桑電通なぎさホールで6月10日、「地球1個分で暮らすために」をテーマに環境授業が実施された。

回答が紹介でき、情報の共有がスムーズで、子供同士が積極的に意見を交わしていた。親子で参加した池田守孝さんは「クイズ番組みたいで面白かった。手を挙げて発表しなくても意見が伝わるので、授業に参加しやすいですね」と笑顔で話してくれた。

環境教育プログラム「地球1個分で暮らすために～エコロジカル・フットプリントから考える～」とは、地域の小中学生を対象に、タブレットPCを使いながら環境課題とその原因を理解し、解決するための行動力を養う環境授業です。

この件に関する問い合わせ先

扶桑電通株式会社 営業推進統括部

<http://www.fusodentsu.co.jp/>

〒104-0045 東京都中央区築地 5-4-18

TEL03-3544-7191